



グッドスピード(東 M:7676)

バリュエーション判断
前回 強気 ⇒ **強気**
(2020.8.18)
目標株価
2,100 円 ⇒ **1,980 円**

決算電話取材:2020年11月17日

担当:石飛 益徳

【非連結】		(百万円、%、円:権利落ち修正後、会/会社計画、予/エース経研予想)									
決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当	
2018/9	22,751	-2	200	-170	149	60	91	20	50.7	5.00	
2019/9	32,393	42	405	102	318	113	193	112	82.6	5.00	
2020/9	33,704	4	124	-69	3	-99	-24	-	-	0.00	
2021/9 会	42,000	25	600	383	440	13,171	260	-	86.8	0.00	
2021/9 予	42,500	26	650	424	490	16,233	290	-	96.8	0.00	
2022/9 予	54,700	29	930	43	760	55	450	55	150.2	15.00	

注. 2020年1月1日付けで、株式分割1株→2株。

【売上構成】	20/9期	【PER】	【財務指標】	20/9末
自動車販売関連	94.4%	20/9	- BPS	431円
付帯サービス関連	5.6%	21/9予	13.0 純資産	1,292百万円
		22/9予	8.4 総資産	16,441百万円
			時価総額	3,784百万円
			株価(12/1終値)	1,263円
			売買単位	100株
			発行株数	2,996千株
			PBR	2.9倍

注. 発行株数は自己株式を除く、EPS、BPSは自己株式を除いて算出。

<注目ポイント>

- ①経営理念「気持ちに勝るものはない」の下で、「すべての人に感謝・感動・感激を与え続ける伝道師でありたい」をミッションに、SUV・4WDに特化した中古車販売と附帯事業(安心・快適・楽しいカーライフ)を東海エリアで展開。2020年9月末30店舗を展開。
- ②同社の強みは9点。「専門性の特化」、「ドミナント出店戦略」、「快適・清潔な店舗作り」、「カーライフのトータルサポート」、「独自基準の仕入体制」、「豊富なオプション商品の提供」、「サービスファクトリーの併設」、「ファン・イベントの開催」、「人材育成・採用」としている。
- ③2020年9月期は、前期比4%増収の337億4百万円、同69%営業減益の1億24百万円、同99%経常減益の3百万円、当期損失24百万円(同▲2億17百万円)と大幅減益だが、公表計画の営業損失2億86百万円を大幅に上回る営業黒字の着地となった。
- ④2021年9月期は、売上高420億円(前期比+25%)、営業利益6億円(同4.8倍)、経常利益4億40百万円(同146倍)、当期利益2億60百万円(同+2億84百万円)と回復を計画。
- ⑤エース経済研究所では、今期予想を売上高425億円、営業利益6億50百万円、経常損益4億90百万円、当期利益2億90百万円とする。来期も出店による大幅な増収増益を期待。

目標株価 1980 円、バリュエーション判断は強気継続

コロナ禍の影響は依然、不透明な状況が残るものの、経済活動の回復は緩やかに継続しており、同社の来店客数も回復傾向にある。今期は成長軌道に復すると見ており、目標株価を今来期予想EPS平均×PER16倍(1年間の平均)の1980円に見直し、バリュエーション判断も強気を継続する。同社の比較対象としては、事業エリアが重なるネクステージが参考になる。

《アナリストによる宣言》

私、石飛益徳は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等: エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第6号

加入協会: 日本証券業協会

指定紛争解決機関: 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

- 株式の売買には、約定代金に対して最大 1.265%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,750 円)(税込み)が必要となります。
- 外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の 2 通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大 11.0%(75,000 円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。
- 株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。
- 上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。
- 外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。
- 債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。
- 外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
 - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
 - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。